

# ヘルスケアビジネスユニット

高齢化の進展、医療費の増大、地域間医療格差の広がりなど、ヘルスケアを取り巻く環境は大きな転換期を迎えています。適正な医療費で世界中の患者さんに質の高い医療ケアを提供するため、日立のヘルスケアビジネスユニット(以下、BU)は医療イノベーションとクリニカルイノベーションによる医療の質の向上と効率化を図りながら、ヘルスケア現場の課題をトータルに解決していきます。



執行役常務  
ヘルスケアビジネスユニット CEO  
**渡部 真也**

## ■ヘルスケアのバリューチェーンを支える日立

人々の健康を支えるヘルスケア事業では5P(Patient, Physician and Medical Staff, Provider, Payer, Policy Maker)といわれるさまざまなステークホルダーが存在します。それぞれのお客さまに最適なソリューションをワンストップで提供するために、日立は誰もが健康に暮らせる社会システムを実現する医療イノベーションと、医療現場や臨床研究の高度化を支援するクリニカルイノベーションの両輪からヘルスケアのバリューチェーンを支え、医療の質の向上と効率化を図りたいと考えています。そこで私たちヘルスケアBUは、日立グループの総合力を生かし、ITを活用した「インフォマティクス」、画像診断装置や放射線治療システムなどの「診断・臨床」、分析装置などの「検査・試薬」という三つのコア事業で強みを発揮するヘルスケア事業をグローバルに展開しています。

## ■データ利活用で医療イノベーションを推進

インフォマティクスで期待されているのが医療ビッグデータの利活用です。多くの医療機関に散在している検診データやレセプト(医療報酬明細書)情報などを

一元的なデータベースに統合し、分析できる基盤を構築すれば、病気のメカニズム解明や新たな治療法の発見、新薬の開発などによって、医療費の最適化、より有効性と安全性の高い医療サービスの提供につなげることができます。国立病院機構のデータ集積基盤構築をはじめ、国を挙げて推進されるヘルスケア分野のデジタル基盤整備プロジェクトにおいて、日立は中心的な役割を果たしています。

また、医療・検診・介護情報を集約してセキュアに共有できる地域包括ケアシステムの拡大にも力を入れており、住民が住み慣れた地域で安全・安心に暮らせる社会の実現に貢献していきたいと考えています。

## ■高度な診断・治療装置とソリューションをワンストップで提供

日立はMRI、CT、X線、超音波といった画像診断装置の開発では60年以上にわたる歴史と実績、粒子線といった放射線治療システムの先駆的な取り組みなど、国内では圧倒的なプレゼンスを

持っています。海外でも80か国以上に事業を展開し、超音波診断装置や放射線治療システムでは世界ナンバーワンをめざせるポジションにあります。そして高性能な画像診断装置だけでなく、医療現場で役立つ疾病別ソリューションや手術支援ソリューションなどもあわせて提供できるのが大きな強みです。

今後は2025年の社会保障制度改革を見据えた病院の機能分化、地域医療連携に対応したソリューション開発や再生医療などの研究開発にも積極的に取り組み、“Innovating Healthcare, Embracing the Future”というステートメントを具現化する革新的なイノベーションで、一人ひとりに最適なヘルスケアサービスを提供していきます。



ヘルスケアビジネスユニットの事業戦略

お問い合わせ先・情報提供サイト

(株)日立製作所 ヘルスケアビジネスユニット  
<http://www.hitachi.co.jp/healthcare/>